

(平成 29 年 1 月 24 日 第 14 回委員会より)

テロップ・ルビ

皇子	おうじ
皇女	こうじょ
不破道	ふわのみち
朝明評	あさけのこおり
朝明評家	あさけのこおりのみやけ
瀬田橋	せたのはし
飛鳥浄御原宮	あすかきよみはらのみや
平城京	へいじょうきょう
赤坂頓宮	あかさかのかりみや
狭残行宮	さざのかりみや
小舟	おぶね
不破頓宮	ふわのかりみや
恭仁京	くにきょう

○山中委員長から 170227 ご意見徴収

「朝明と壬申の乱」

- ・系統図 横にしても o. k 修正保留 [0 : 31]
- ・走るイメージ映像 速足すぎる。→ 「領地のある美濃に遣いを遣り」のナレーションに映像を合わせる [1 : 29]
- ・岐阜県美濃市 [1 : 34]
- ・地図中の高市皇子テロップ 分かりにくいし、高市を入れると他の皇子などの名前も入れる必要が出てくる → 高市皇子をなくす [2 : 39]
- ・現在 大津市 瀬田唐橋 「せたのからはし」と読むのか、「せたからはし」と読むのか分からない。→ 確認が必要。もしくはルビを振らない。[3 : 44]
- ・瀬田の戦い 順番、映像挿入。[3 : 44]

「朝明と聖武天皇の東国行幸」

- ・Ⅱ期模型について 第14回会議では、プロローグはⅠ期のCG、エピローグをⅡ期全体の模型に差し替えとしたが、プロローグも差替えては。ドローンの映像に重ね合わすことはできるか。 [5 : 08] [9 : 10]
プロローグの映像が「壬申の乱」と同じなため、同じ映像と勘違いされる可能性があるため。
- ・最初の朱雀門のカットはそのまま [5 : 39]
- ・朕おもうところ、、、 騎馬隊のパラパラアニメを御輿のイラストに代える。三御輿のイラストを使い、動きが出るようにできるか。 [5 : 56]
- ・横からの大極殿 正面からの大極殿のものに差し替え [6 : 02]
- ・系統図 横にしても o. k 修正保留 [6 : 35]
- ・天平祭 2カットがあるが、1カット目は観光客などが入り過ぎで分かりにくい。
常設の御輿カットを入れ、2カット目の動画を入れる。 [7 : 11]
- ・天武天皇の画像に聖武天皇の画像を横に重ねる。血縁の結びつきが強調される。[8 : 00]
- ・不破からの恭仁宮 騎馬隊のパラパラアニメをなくし、御輿に代える。一御輿のイラストを切り抜きなどの作業をして使ってはどうか。三御輿のイラストを使い、動きが出るようにできるか。 [8 : 12]
- ・恭仁宮のドローン映像に平城宮大極殿を重ねる。 [8 : 24]
- ・最後の大極殿 聖武が遷都から帰ってきた時には、第1次大極殿は存在しない。恭仁宮大極殿へ移築される。 →朱雀門に入れ替える。 [8 : 57]

○宇治橋の映像 岡田先生に古代の宇治橋に欄干がないのであれば、どんな橋だったのか聞いてみるように。 **〔6 : 02〕**

久留倍官衙遺跡案内

2017.03.01

▶ タイトル

「朝明と壬申の乱」

▶ 制作時間＝約 5分00秒

〔凡例〕

- 撮影 動画
- ▲ イメージ撮影
- 既存の画像
- スーパー、図面

N＝男・女性ナレーション

S#1 壬申の乱前夜

約1分30秒

○黒い画面にスーパ―

久留倍官衙遺跡

●久留倍官衙遺跡

遺跡から海が見える風景

ドローン映像とCG

○CG映像にスーパ―

朝明と壬申の乱

○古代文様にスーパ―

天皇系統図

▲天智と大海人 イメージ映像

■現在の吉野宮 宮滝遺跡

石碑、ドローン

■吉野の宮模型

■日本書紀

○スーパ―

或曰 虎着翼放

虎に翼を付けて放てり

▲天智崩御 イメージ映像

■現在の吉野宮 宮滝遺跡

■吉野の宮模型

■現在の吉野宮 宮滝遺跡

N1	N2	N3	N4	N5
(男性ナレーション) くるべかんがいせき 久留倍官衙遺跡。	平成十一年に見つかったこの遺跡は、 日本古代史を大きく変えた壬申の乱 の舞台の一つでした。	おおもあまのおうじ 六百七十一年、大海人皇子は、病いの てんじてんのう 兄、天智天皇が位を譲ろうというのを 断り、出家して吉野の宮に入ります。 身の危険を感じたからでした。	「虎に翼を付けて放ったようなものだ」 と言って恐れる人もありました。 てんじ 天智が亡くなると、その息子、大友皇 おおもものおうじ 子側が兵を集めているとの知らせが吉 野にもたらされ、ここに古代最大の内 乱、壬申の乱が起こりました。	

S #2 吉野脱出

約3分30秒／5分00秒

▲ 鷗野讃良皇女 シルエット

○ スーパー 大海人と鷗野の系図

■ 日本書紀巻 (何默亡身耶)

何ぞ黙して身を亡さんや

■ 吉野の宮模型

■ 現在の吉野宮 宮滝遺跡

▲ 野道を足早に歩く武人の足元

■ 美濃 小倉山から遠望

■ 現在の不破関通り

○ スーパー行軍図

▲ 激しい雨が叩きつける

N9	N8	N7		N6	
昼、夜と無く進んでいくなか、二日目の夜、激しい雨が襲いました。	そして、伊賀・伊勢を経て、兵を募りながら美濃を目指しました。	大友は圧倒的な戦力を持っていました。 （男性ナレーション） そのために、大海人は、まず領地のあ る美濃に使いを送り、戦いの要所であ る不破道の封鎖を命じています。 ふわのみち	でも僅か30人ばかりの慌ただしい出発 でした。	夫の言葉です。 おっじ 6月24日。幼い皇子たちや女性を含め ても僅か30人ばかりの慌ただしい出発 でした。	うののさびしの「うっじょ」 （女性ナレーション 鷗野讃良皇女） 「何もせずに死を待つわけにはゆかぬ」

▲朝日

○スーパー

■日本書紀写本

於朝明郡迹太川邊望拜天照大神

▲海蔵川の流れ

●伊勢神宮

▲鷗野讃良皇女 シルエット

▲赤い軍旗

■不破関跡および周辺

○スーパー行軍図

●久留倍官衙遺跡

トローン映像とCG

●発掘の様子

N 10

寒さに震える一行が、朝明評の迹太

ひ

川まで来ると、雲間から陽が射してき

たのでしよう。大海人は、太陽神でも

あまてらすおおみかみ

ある天照大神に勝利を願うのでした。

N 11

(女性ナレーション 鷗野讃良皇女)

すると、近江を脱出した大津皇子が

おおつのおうじ

駆けつけ、さらに美濃の兵三千が不破

ふわのみち

道を封鎖したとの良い知らせが届きま

す。次第に明るさがみえてきました。

N 12

(男性ナレーション)

あさけのこおりのみやけ

朝明評家に入った大海人は、息子の高

たけちのおうじ

市皇子を総大将として不破に遣わして

います。

N 13

ここ、久留倍は、大海人が辿った道の近

あさけのこおりのみやけ

くで発見されました。朝明評家との関

係が指摘されています。

○スーパー行軍図 ▲軍旗 ■壬申の乱の武人復元 ▲鷗野讃良皇女 シルエット ○スーパー 行軍図 不破 ■不破関跡 ■現在の野上行宮跡 ▲炎 など戦のイメージ ■瀬田橋の戦い模型 ■現在の瀬田唐橋		
N 16	N 15	N 14
戦況は一進一退を繰り返しました。 せたのはし 勝利を決したのは瀬田橋の決戦でした。 大海人軍は大友軍を撃破し、一気に攻め込みました。大友軍は総崩れとなり、翌日、大友は自害しています。	（男性ナレーション） 夫が不破の前線近くに陣を敷くことで、さぞ兵たちの士気も揚がったことでしょう。 「必ず勝つ。」と確信していました。 夫が不破の前線近くに陣を敷くことで、さぞ兵たちの士気も揚がったことでしょう。 （女性ナレーション） おうじ 皇子たちを私に託し不破へと向かいました。	不破に到着しています。 その時、兵力はおおよそ三万にまでに膨れ上がっていました。

S #3 戦と終戦

約1分30秒／6分30秒

▲ 鷗野讃良皇女 シルエット

■ 飛鳥浄御原宮跡

ドローン映像

■ 飛鳥浄御原宮

エビノコ郭模型

▲ 天武天皇イメージ

■ 薬師寺天武天皇坐像

■ 飛鳥浄御原宮跡

模型全体

● 久留倍官衙遺跡とCG

(女性ナレーション 鷗野讃良皇女)

戦いに勝利した私たちは、来た道に戻

り飛鳥へ入ります。夫は翌年、飛鳥浄あすかきよみはらのみや

御原宮で即位します。天武天皇です。てんむてんのう

(男性ナレーション)

天武は、天皇を中心とする中央集権

国家を打ち立てました。

久留倍官衙遺跡。

ここは、古代日本の激動の歴史を見

てきたのでしょうか。

N
19

N
18

N
17

久留倍官衙遺跡案内

2017.03.01

▶ タイトル

「朝明と聖武天皇の東国行幸」

▶ 制作時間＝約 5分00秒

〔凡例〕

- 撮影 動画
- ▲イメージ撮影
- 既存の画像
- スーパー、図面

N＝男・女性ナレーション

S #1 行幸伊勢国

約2分30秒

○黒い画面にスーパー

久留倍官衙遺跡

●久留倍官衙遺跡

発掘調査

ドローン映像とCG

○CG映像にスーパー

ゝ朝明と

聖武天皇の東国行幸ゝ

■続日本紀

天平九年是年春条 疫瘡

◆聖武天皇像

■奈良盆地全景

■聖武天皇像

▲炎など戦のイメージ

○スーパー

朕、おもう所有るに縁りて、今月の末、しばらく関東に往かんとす。その時に非ずと雖も、事已むことあたはず。將軍これ知るとも、驚き怪しむべからず

○騎馬隊のイメージ

パラパラアニメ

■平城宮朱雀門

■平城宮大極殿

(男性ナレーション)

久留倍官衙遺跡。

平成十一年に見つかったこの遺跡は、

とつこくぎょうこつ

聖武天皇の東国行幸を支えた舞台の

一つでした。

しょうむてんのう

ながやおう

聖武天皇の時代には、長屋王の変や、

多くの自然災害、また天然痘てんねんとうの蔓延に

より、奈良の都は死者で満ちあふれて

いました。

ふじわらのひろつぐ

聖武は七百四十年、九州で藤原広嗣

の乱が起こっているにもかかわらず、

東国への行幸に旅立ちました。それは、

きば

多くの貴族や騎馬四百騎を伴う壮大

なものでした。

○スーパー 行幸ルート

■河口頼宮跡

白山町川口

●伊勢神宮

○スーパー 行幸ルート

■赤坂頼宮跡

N5

十月二十九日に平城京^{へいじょうきやう}を出発し、十一月二日には伊勢国、一志郡^{いちしぐん}の河口頼宮^{かわぐちのかりみや}に至ります。

あまてらすおおみかみ

N6

翌日、天照大神を祀る伊勢神宮に使者を遣わしています。この行幸の大きな目的の一つだったのでしよう。

N7

十四日には鈴鹿^{あかさかのかりみや}の赤坂頼宮に入ります。

S#2

壬申の乱 追体験

▲持統天皇 シルエット

○スーパー 聖武と持統の系図

N8

(女性ナレーション 持統天皇)
聖武は私の曾孫^{ひまご}にあたります。

夫、天武天皇と私の血筋をひく者を即位させる。

それは私の悲願でした…

N9

赤坂を出た聖武は朝明郡の狭残行宮^{さざのかりみや}

に二泊します。赤坂から不破までは壬

申の乱で夫が辿った道と同じです。

この壮大な行幸はそれを追体験したものでしょう。

▲鷗野讃良皇女 シルエット

○大海人行軍図と

聖武行幸図の比較

▲大海人皇子のイメージ

■万葉集表紙

■大和がたたなずくイメージ

○スーパ―

大君の行幸のまにま我妹子が

手枕まかず月そ経にけ

る

■海が煌めくイメージ

御食つ国志摩の海女ならしま

熊野の小舟に乗りて沖辺漕ぐ

見ゆ

●久留倍官衙遺跡

CG 長大な建物

▲鷗野讃良皇女 シルエット

○スーパ― 行幸図

■美濃小倉山からの遠望

■現在の不破辺り

■薬師寺天武天皇坐像

(男性ナレーション)

万葉集には、この行幸で、朝明の行宮

かりみや

で詠まれたと考えられる歌四首が収め

られています。

おおとものやかもち

大伴家持は二首を詠んでいます。

みけつくに

あま

御食つ国志摩の海女ならし

ま熊野くま おふねの小舟に乗りて沖辺漕ぐ見ゆおきへ こぐみゆ

ここに久留倍で発掘された大きな建物

が、行幸に関係するとの指摘があります。

(女性ナレーション 持統天皇)

夫天武は、不破に陣取り、先には進んで

いないので、聖武もここで追体験を終え

たのでしよう。わが夫の跡をたどり、時

そうそふ

を超えて曾祖父の偉大さを想ったこと

でしょう。

聖武は十二月四日に、不破頓宮ふわのかりみやですべ

ての騎兵を都へ返しています。

○行幸行程図

■恭仁京跡

ドローン

▲鷗野讃良皇女 シルエット

■東大寺 大仏

■奈良の情景

○スーパ―

青丹よし 奈良の都は咲く花の

にほふがごとく 今盛りなり

詠人 小野老

●天平文化イメージ

正倉院御物復元写真

■奈良の情景

●久留倍官衙遺跡

発掘風景

●久留倍官衙遺跡とCG

N 15

(男性ナレーション)

「ここからは遷都に臨む行幸に変わ

ります。十五日、聖武は恭仁京に都を遷

し、東国行幸を終えました。

N 16

(女性ナレーション 持統天皇)

その後聖武は、再び奈良へと都を遷し

念願の大仏を完成させます。

「あをによし 奈良の都は 咲く花の

にほふがごとく いま盛なり」

N 17

華やかな天平文化。私のひ孫はその舞

台の中心にいたのです。

N 18

(男性ナレーション)

久留倍官衙遺跡。

大矢知で発見されたこの遺跡は天平

文化の、その頂点に立つ人びとをつづ

さに見てきたのでしょうか

③

名称板：30×20 cm

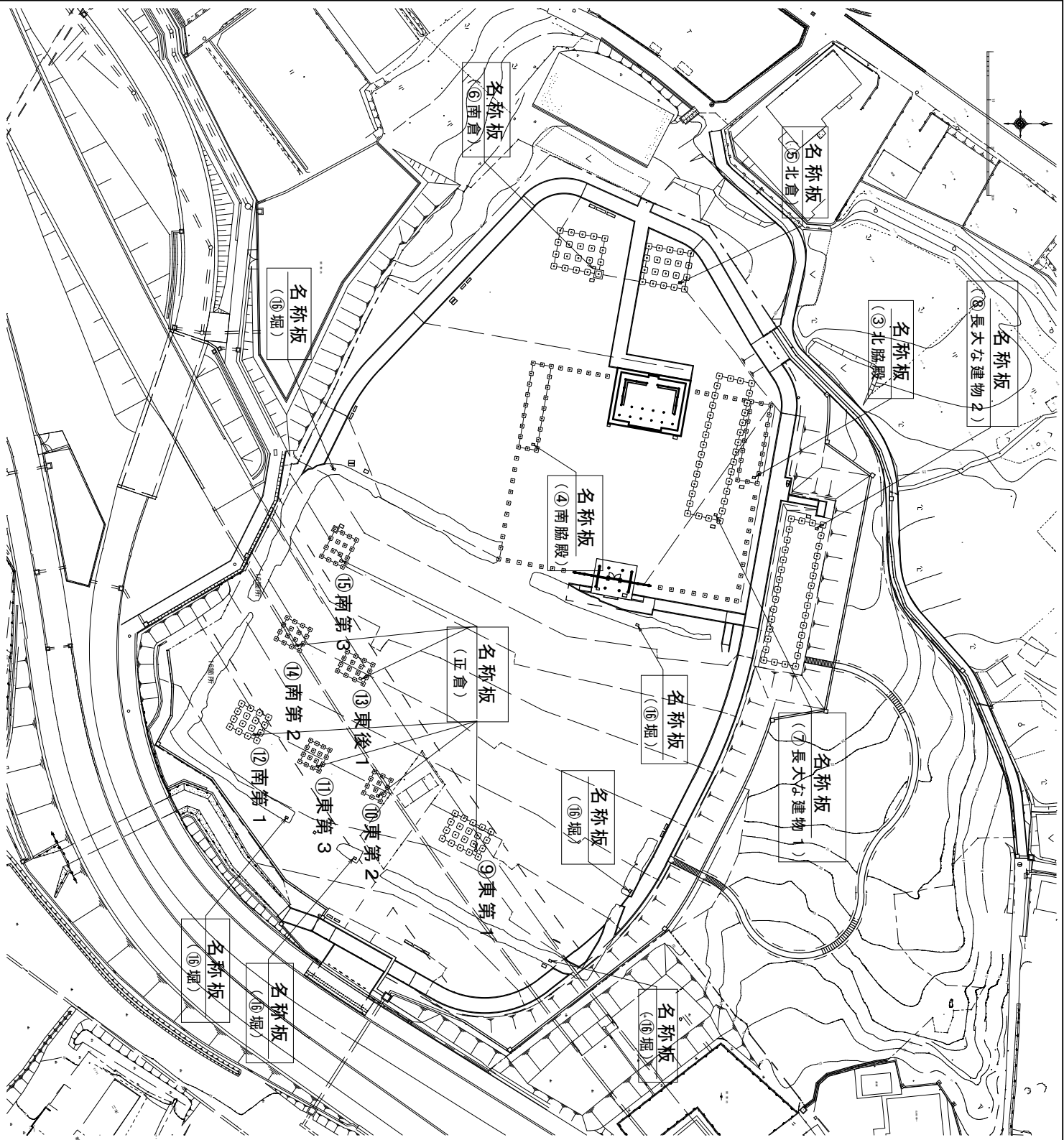
整備する遺構に石板を埋め込む

番号・時期・名称・規模・方位を表示

I 期 北脇殿

17.2×4.1m





名称板内容案（方位は省略）

番号	時期	名 称	規模（m）
③	I	【北・南脇殿】 『上野』：副屋、東屋 西長屋など	17.2×4.1
④	I		17.8×3.9
⑤	I	【南・北倉】 『倉庫令』：倉藏、庫	8.9×7.6
⑥	I		9.5×8.0
⑦	II	【長大な建物1】	29.4×6.9
⑧	II	【長大な建物2】	30.0×6.8
⑨	III	【正倉】 『倉庫令』：倉 各国正税帳・『上野』 集計部は正倉 木簡：正倉、棟	8.4×5.6
⑩	III		5.0×3.9
⑪	III		6.3×5.0
⑫	III		6.3×5.4
⑬	III	※『上野』：正倉院 儀制令：倉庫院	6.3×5.0
⑭	III		5.4×5.0
⑮	III		6.3×5.0
⑯	III	【堀】 『倉庫令』：池渠	

※①正殿

『上野』：庁屋、公文屋

②八脚門

『常陸国風土記』：郡家南門

<凡例>

『上野』：上野国交替実録帳

儀制令：儀制令集解五行条古記